

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談
2. 日時：令和5年6月27日（火）15：30～16：40
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
松田室長補佐、横山係長
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー 担当2名
5. 要旨：
 - 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）より、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について、資料に基づき主に以下の説明があった。
 - タービン建屋東側における地下水、排水路及び海水中の放射性物質濃度の状況
 - ✓ 地下水、海水及び排水路の分析結果について、一部の地点において上下動が確認されているものの、全体としては横ばい傾向である。
 - ✓ 港湾内6号機取水口前の海水試料について、ALPS処理水放出設備に係る実施計画変更認可申請にて変更することとしているとおり、来月から5号機取水口前に採取地点を変更する。
 - ✓ ALPS処理水放出設備に係る実施計画変更認可申請にて示しているとおり、海域モニタリングにおける異常値を設定したため、今後は設定した異常値にて運用する。
 - 原子力規制庁は、上記説明内容について確認し、東京電力に対し以下の点についてコメントした。
 - ✓ 排水路及び港湾内の海水試料におけるCs-137において、降雨量が多くなる時期に濃度が高くなる季節変動が見られていることから、線量低減の意図を鑑みて、降雨量が多くなる時期の前に道路・排水路の土砂回収等を実施することで、より線量低減に資する対応となるよう、運用方法を考慮すること。
 - 東京電力から、上記コメントについて関係部署と検討する旨回答があった。
6. その他
資料：
 - 環境線量低減対策スケジュール
 - タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
 - 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2023年5月）
 - 別紙 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2023年5月

評価分（詳細データ）

- 空气中放射性物質濃度の分析結果（1～4号機）
- 福島第一原子力発電所構内の線量状況について
- 参考 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する海域モニタリングの状況について

以上